

知的財産 支援活動だより

特集 「企業価値担保権制度」について



トピックス

9月までの支援活動（東北会・関東会・東海会・関西会）

目次

特集 「企業価値担保権制度」について

企業価値担保権制度への期待

～ 企業の成長・事業の継続を支援する新たな枠組みへの弁理士の寄与 ～

4

1. 9月までの支援活動

東北会

「知的財産特別授業」古川学園高等学校

東北会 伊藤夏香 7

関東会

栃木県発明協会（プラザのつどい）発明工作授業

関東会 栃木委員会 亀崎伸宏 9

「知的財産特別授業」神奈川県立川崎図書館

関東会 知財創造教育支援委員会 美川公司 10

「知的財産特別授業」横浜市立一本松小学校

関東会 知財創造教育支援委員会 高原千鶴子 11

「発明工作授業」瑞穂小学校

関東会 知財創造教育支援委員会 金子彩子 12

「発明工作授業」瑞穂小学校

関東会 知財創造教育支援委員会 金子彩子 13

東海会

「知的財産特別授業」北名古屋市少年少女発明クラブ

東海会 教育機関支援機構 運営委員 寺本諭史 14

関西会

2026年度「弁理士の日」記念事業（滋賀）

「親子発明工作～磁石のはたらきを感じてみよう～」

関西会 滋賀地区会 副地区会長 前田直 15

2026年度「弁理士の日」記念事業（京都）

「親子発明工作教室『どんな音がでるかな（ストローで楽器（笛やパンパイプ）を作ろう）』」

関西会 京都地区会 副地区会長 鎌田雅元 17

KRPフェス2026

関西会 京都地区会 副地区会長 鎌田雅元 18

知財基礎講座（第2回）

「特許・実用新案入門『“真”に事業に役立つ特許とは？』」

関西会 江口裕之 19

「知的財産特別授業」大阪市立矢田小学校

関西会 知的財産特別授業講師 古澤寛 20

2. 支援活動一覧表（10月分）

21

本日よりWebでも閲覧できます。日本弁理士会ホームページ（<https://www.jpaa.or.jp/>）



「企業価値担保権制度」について

企業価値担保権制度への期待

～ 企業の成長・事業の継続を支援する新たな枠組みへの弁理士の寄与 ～

1 知的財産を「企業価値」として生かす時代へ

令和8年5月25日に施行された「事業性融資の推進等に関する法律」により、企業の将来性に基づく融資を後押しするための新たな制度として、会社の総財産を担保権の目的とする「企業価値担保権制度」が導入されました。

近年、企業の競争力の源泉は、有形資産から知的財産・無形資産へと大きく移りつつあります。独自の技術やノウハウ、ブランドなどは、企業の成長を支える重要な経営資源であり、その価値を適切に評価し、企業の成長につなげていくことが求められています。

こうした背景の下で創設された企業価値担保権制度は、企業全体の価値に着目して事業性融資を推進する新たな仕組みです。特に、有形資産に乏しい一方で優れた技術やアイデアを有するスタートアップや中小企業にとっては、新たな資金調達の道を開く制度として期待されています。また、知的財産・無形資産への投資を促し、企業価値の向上につながることも期待されています。

本稿では、企業価値担保権制度の概要とその意義を紹介するとともに、日本弁理士会がこれまで取り組んできた活動を踏まえ、本制度において弁理士に期待される役割について紹介します。

2 企業価値担保権制度とは

企業価値担保権制度は、企業が保有する総財産を一体として担保の対象とする新たな制度です。従来の融資では、不動産や設備などの個別資産が担保の中心でしたが、本制度では、それらに加えて知的財産・無形資産も含めた企業全体の価値を踏まえ、事業性を評価することが想定されています。

本制度の特徴は、企業を「解体して債権を回収する」ことではなく、「企業の成長と事業の継続を支援する」ことを目的としている点にあります。金融機関は、企業の財務状況だけでなく、事業内容や将来性、競争力なども考慮して融資を行い、融資後も企業との対話を継続しながら企業価値の維持・向上を図ることが期待されています。

この制度の導入により、これまで十分に評価されにくかった技術やノウハウなども、企業価値を構成する重要な要素として位置付けられることになります。その結果、知的財産・無形資産を強みとする企業の資金調達が円滑になるだけでなく、企業が知的財産の創造・保護・活用へ積極的に取り組む好循環が生まれることも期待されています。

3 日本弁理士会のこれまでの取組

日本弁理士会は、企業価値担保権制度が創設される以前から、知的財産・無形資産を企業経営に生かすための活動を継続してきました。

平成17年度には「知的財産価値評価センター」を設立し、知的財産権の価値評価に関する研究や評価人の推薦などに取り組んできました。また、「知的財産経営センター」では、知財経営の普及や企業価値向上に資する支援を進めています。特許庁が推進してきた知財金融事業にも協力し、地域金融機関

による知的財産に着目した事業性評価を支援してきました。こうした取組を通じて蓄積した知見は、企業価値担保権制度においても生かされることが期待されています。

さらに、日本弁理士会及び日本弁理士政治連盟は、知的財産・無形資産を適切に評価する上で弁理士の専門性を生かすことの重要性について提言や説明を行ってきました。その考え方は「知的財産推進計画 2026」にも反映され、同計画では企業価値担保権に関する項目が新たに設けられるとともに、「企業価値担保権の活用も含む事業性融資の推進に向け、弁理士等の知財専門家と金融機関が協働して事業性評価を行う仕組み等について検討すること」が施策の方向性として掲げられています。

このように、日本弁理士会がこれまで積み重ねてきた知財経営や知財金融に関する取組は、新たな制度の円滑な運用にもつながるものと期待されています。

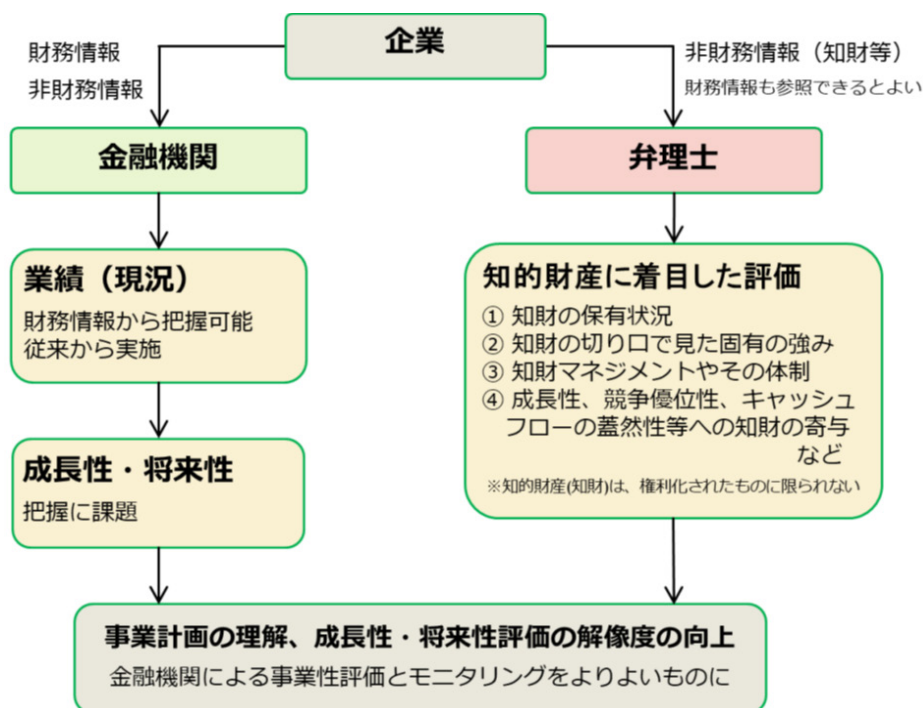
4 弁理士に期待される役割

企業価値担保権制度では、企業が保有する知的財産を個々の権利として評価するだけでなく、それらが企業の競争力や将来の成長可能性にどのように結び付いているかを把握し、事業全体の価値として評価することが重要となります。こうした事業性評価においては、金融機関の知見に加え、知的財産・無形資産に関する専門的な知見を活用することが期待されています。

弁理士は、知的財産に関する専門家として、企業が保有する技術や知的財産・無形資産の内容、それらが事業の中でどのように活用され、競争優位性の確立や企業価値の向上に寄与しているかを整理・分析することができます。また、知財戦略と事業戦略との関係を分かりやすく示すことにより、金融機関が企業の成長性や将来性をより的確に把握するための支援を行うことも期待されています。

さらに、企業価値担保権制度では、融資後も企業と金融機関が継続的に対話を行いながら企業価値の維持・向上を図ることが想定されています。そのため、弁理士には、知的財産の創造・保護・活用に関する助言を通じて、企業の知財戦略や知財マネジメントの充実に支援し、企業価値の向上に継続的に寄与する役割も期待されています。

〔図 金融機関と弁理士が協働して行う事業性評価のイメージ〕



図に示すように、金融機関が有する財務・事業面からの知見と、弁理士が有する知的財産・無形資産に関する専門的知見を組み合わせることで、企業の事業計画や成長可能性をより多面的に把握することが可能になります。このような協働は、企業価値担保権制度の実効性を高めるだけでなく、企業自身が自社の強みを再認識し、知的財産を経営資源としてより積極的に活用していく契機にもなることが期待されます。

5 今後の展望

企業価値担保権制度は、知的財産・無形資産を企業価値の重要な構成要素として評価し、企業の成長と事業の継続を支援する新たな制度です。特に、スタートアップや中小企業にとっては、知的財産・無形資産を生かした新たな資金調達の可能性を広げるとともに、知的財産・無形資産への投資を促進する効果も期待されています。

一方で、本制度を実効性あるものとして定着させるためには、企業、金融機関、支援機関、知財専門家がそれぞれの専門性を生かしながら連携し、事業性評価に関する知見や実績を積み重ねていくことが重要です。知財経営や知財金融に関する知見を有する弁理士には、企業価値担保権制度を円滑に運用するためのハブとしての役割が求められるでしょう。

企業価値担保権制度は、単なる新たな担保制度ではなく、知的財産・無形資産を企業の成長につなげる新たな社会基盤となる可能性を有しています。本制度が広く活用されることにより、知的財産・無形資産への投資が一層促進され、スタートアップや中小企業の成長、さらには我が国産業の競争力強化とイノベーションの創出へとつながることが期待されます。日本弁理士会は、今後も関係機関との連携を深めながら、その実現に貢献してまいります。

1

9月までの支援活動

東北会

「知的財産特別授業」古川学園高等学校

1. 日 時：2026年9月9日（水）10：55～12：45
2. 場 所：古川学園高等学校
3. 対 象：高校1年～3年 男子43名 女子42名 合計85名（欠席4名）
4. 講 師：伊藤夏香、岩崎良子
5. 内 容：

■授業の概要

進学校であり、かつ、女子バレーボールでは日本代表も輩出するほど部活が盛んな学校で、中学校を併設しており、県外から通う生徒もいます。今回は普通科創志コースという、部活動と勉強を両立したい生徒が対象でした。

「商品開発と知的財産」のコンテンツに商標の説明スライドを加えて、具体的な商品（汗拭きシート3種）を手に取りながら商品開発の手順と知的財産権の種類を学び、知的財産権の取得方法、商標権の活用例、商品開発の練習（片手で持てる発明工作を含む）を行いました。

授業を通じて、知的財産についての理解を深め、グループワークにより解決提案を行うことで、創造性・発想性・課題解決力を育て、創造することの楽しさや価値を知り、商品開発において知財を保護活用することで社会をより良くしようとする姿勢を培う一助となる内容としました。

グループワークでは、各自で商品を作り、各グループで1つの商品について模造紙を用いて発表してもらいました。

■受講生の様子

5～6人×15班で着席し、講義を聴講した後、グループワークを行いました。各班とも1～3年の混合チームでしたが互いを尊重して上下関係なしに協力し合っているように見えました。

2コマ連続だったにも拘わらず、全員が最後まで集中して取り組んでいました。自ら積極的に手を挙げて発言することはなかったものの、指名すると例外なくしっかり質問や感想や意見を発言してくれました。

3種類の汗拭きシートを試して感想を言い合い、グループワークでは、最初こそアイデアが浮かばない生徒もいましたが、最終的には思い思いの商品を全員が作り、各グループ1点ずつ模造紙にポイントとネーミングを書いて発表しました。中にはわかりやすくイラストやデコレーションを施したチラシ風に作成してくれたものもありました。

■生徒の感想（抜粋）

- ・音も商標権が取れることに驚いた。今後新しく商標権の対象となる可能性があるものはあるか。
- ・自分で商品を考えたりすることは初めてでとても新鮮で楽しかったです。これからの生活で知的財産権について考えていこうと思いました。ありがとうございました。
- ・この講話を通して今まであまり考えたことがなかった知的財産について初めて知ることが多くて面白

かったです。日常生活の中にある商標や特許についてもう少し目を向けてみようかなと思いました。

- ・知的財産権について詳しく知らなかったので今日の授業でいろんな話を聞いて知ることができました。物作りをするときも最初は難しかったです。いろんな便利なものを作っている人の気持ちが分かりました。今日はありがとうございました。
- ・短時間でアイデアが思いつくか不安でしたがチームメンバーと協力して考えを深めてアイデアを形にすることができました。これから商品を生み出すような機会があったら今日の活動や知的財産権について思い出して進めていきたいです。

■担当講師の感想

- ・知的財産権についての具体的な内容を初めて知った人が多かったです。
- ・最初に実際の商品（汗拭きシート）を使って商品開発や知財について学んでから自分たちで課題を解決する商品考えたので、班ごとに商品のポイントが明確にできました。
- ・商品開発の難しさを知って、より知的財産権の大切さを理解してもらえたようです。
- ・日頃から外部の人に発表し慣れているのか、どのグループも生き生きと発表してくれました。
- ・他のグループの発表も熱心に聞いていて、それぞれの発想に驚いていたようでした。各班で全く同じものではなく、それぞれオリジナルな工夫点があり、ネーミングもよく考えられていました。個性的な商品ばかりで創造性の豊かさを実感しました。



東北会 伊藤夏香

関 東 会

栃木県発明協会（プラザのつどい）発明工作授業

1. 日 時：2026年8月29日（土） 午前の部 11:00～12:00
午後の部 14:00～15:00

2. 場 所：とちぎ産業創造プラザ

3. 対 象：未就学児～小学生

4. 講 師：関東会知財創造教育支援委員会 岩永勇二
関東会知財創造教育支援委員会 高橋洋平
関東会栃木委員会 亀崎伸宏

5. 内 容：発明工作授業（ペーパー台）

平成29年から続いている派遣であり、8月24日（月）から開催されているイベントの最終日の一プログラムとして参加しました。

冒頭、高橋会員から工作の内容や進め方について説明を行った後、「ペーパー台」の発明工作を行いました。材料は、A4用紙20枚、方眼用紙1枚、ノート1冊、セロハンテープで、はさみを用いてA4用紙で柱を作り、方眼用紙やノートを天板として二段重ねの台を作り、どれだけの重量に耐えられるかを工夫するというものです。

まず一段目の台を作り、完成した段階で実際に重りを載せて強度を確認し、問題がなければ二段目の作成に進みました。重りとして、500mLのペットボトル2本、1Lのペットボトル2本、2Lのペットボトル4本の合計11kgを用意し、出来上がった方から順次、どこまで耐えられるかを試しました。

参加者は、紙の折り方や丸め方、柱の本数や配置などをそれぞれ工夫し、重りを載せて崩れてしまっても、その原因を考えながら作り直し、より強度のある台を作っていました。保護者も子どもと一緒に考えて作ったり、親子でそれぞれ作って競い合ったりするなど、一緒になって夢中で取り組んでいました。

11kgを超える重さにも耐える台を完成させた参加者も見られ、さらに、二段重ねにとどまらず三段重ねの台を作る参加者もありました。失敗を繰り返しながら工夫を重ね、より強い構造を考えていくという、発明工作授業となりました。



関東会 栃木委員会 亀崎伸宏

「知的財産特別授業」神奈川県立川崎図書館

1. 日 時：2026年8月1日（土）10：00～15：00
2. 場 所：神奈川県立川崎図書館
3. 対 象：小学生
4. 講 師：知財創造教育支援委員会委員 岩永勇二、金子正彦
神奈川委員会委員 三宅康雄、柴田克亮
オブザーバー 美川公司、長谷川陽子（午後）、高原千鶴子、大野玲恵
5. 内 容：

午前の部は、電子紙芝居レオ君の物語第1章「発明ってなあに」、「君も今日からエジソン、身近な発明品と小学生の発明の紹介、発明の練習をしてみよう」、「野球などの試合で好きなチームを応援していると、のどが渇きませんか?食べたり飲んだりしながら全力で応援を続けることができる便利グッズを発明しよう!」の内容で発明工作を行い、最後の15分で小学生が自分の発明の工夫点を紹介する時間や纏め及び感想文作成の時間にしました。

午後の部は、電子紙芝居レオ君の物語第2章とUSB資料「君も今日からエジソン、〇×クイズ、小学生の発明、水平開きノート」の話をした後、発明工作「集めるのも捨てるのも楽なちりとりを発明しよう!」を行いました。課題としての「しっかり集められてそれらを全部上手く捨てられるように…」といった説明の後、約40分かけて工作してもらい、15分で作品の発表と講評をしました。

■授業風景の写真



関東会 知財創造教育支援委員会 美川公司

「知的財産特別授業」横浜市立一本松小学校

1. 日 時：2026年8月7日(金) 13:30～16:00
2. 場 所：横浜市立一本松小学校
3. 対 象：小学生
4. 講 師：知財創造教育支援委員会 中村佳正（前半・工作担当）
神奈川委員会 高原千鶴子（後半・座学担当）
知財創造教育支援委員会 岩見晶啓（オブザーバー）

5. 内 容：

一本松小学校放課後キッズクラブにおいて、中村会員による発明工作「紙飛行機」の授業を実施しました。

冒頭、クラブ代表者の挨拶及び弁理士の紹介の後、紙芝居で発明について学び、A4用紙を使って全員で基本の紙飛行機を作成しました。完成後は体育館で飛行実験を行い、飛び方を確認しながら機体を改良しました。

その後、さまざまな大きさの紙を使い、折り方やデザインを自由に工夫して紙飛行機を制作しました。再び飛行実験を行い、飛行距離や直進性、デザイン、工夫・アイデアの4部門で表彰を行いました。参加者は試行錯誤を重ねながら、自分なりの発明に取り組み、発明の楽しさを体験する授業となりました。

最後に、高原会員による動画「発明ってなあに」を視聴し、後片づけを行いました。

■授業風景の写真



関東会 知財創造教育支援委員会 高原千鶴子

「発明工作授業」瑞穂小学校

1. 日 時：2026年8月19日（水）14:00～15:00
2. 場 所：瑞穂小学校
3. 対 象：小学生3～6年生
4. 講 師：知財創造教育支援委員会委員 高橋洋平、金子彩子
5. 内 容：

まず、講師オリジナルのスライドを用いて、著作権について説明しました。

次に、弁理士会のスライド「マンガ本のマンガはだれのもの？」を上映しました。

次に、講師オリジナルのスライドを用いて、著作権についてのクイズを行いました。

次に、「ピクトグラムを作ろう」の題材で、学校内外で使える児童オリジナルのピクトグラムを描きました。

最後に、各児童が作成したピクトグラムを発表しました。

■授業風景の写真



関東会 知財創造教育支援委員会 金子彩子

「発明工作授業」瑞穂小学校

1. 日 時：2026年8月21日（金）14:00～15:00
2. 場 所：瑞穂小学校
3. 対 象：小学生3～6年生
4. 講 師：千葉委員会 高橋昌義、金子彩子
5. 内 容：

まず、講師オリジナルのスライドを用いて、発明、特許について説明しました。

次に、講師オリジナルのスライドを用いて、発明、特許についてのクイズを行いました。

次に、「球場で使えるような、コップと皿を一体化した食器を作ろう（片手で持てるかな）」の題材で、球場などで使える食器を作成しました。

最後に、各児童が作成した食器を発表しました。

■授業風景の写真



関東会 知財創造教育支援委員会 金子彩子

東 海 会

「知的財産特別授業」北名古屋市少年少女発明クラブ

1. 日 時：2026年9月5日（土）10:00～12:00
2. 場 所：北名古屋市環境学習センター
3. 対 象：クラブ員11名
4. 講 師：教育機関支援機構 機構長 二宮佳亮、運営委員 寺本諭史
5. 内 容：

名古屋市に隣接する北名古屋市少年少女発明クラブのクラブ員（小学校高学年が大多数）を対象に、知的財産に関する授業（パン職人レオ君の物語など）と、発明工作（ちりとり）を行いました。

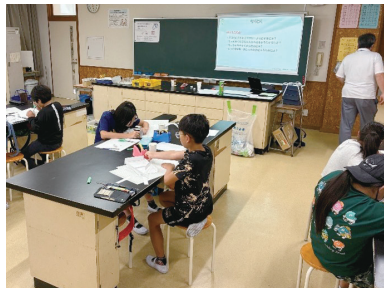
前半の60分は、導入（「弁理士」、「特許」、「発明」とは?:約15分）、パン職人レオ君の物語（約20分）、身近な発明品の紹介（約25分）を行いました。

こちらからの問いかけに対して積極的に手を挙げてくれるクラブ生が多く、楽しい雰囲気の中で授業を行うことができました。レオ君の物語では、第1章～第2章の抜粋した内容についてナレーションを読みつつ、登場人物の声を適宜当てる形で進めました。発明を守る必要があることやその仕組みについて理解を深めてもらえました。

身近な発明品の紹介では、お菓子や文房具を題材に取り上げました。チップスターの容器に関する発明やカップヌードルの発明については興味津々の様子でした。

後半の約50分では、発明工作（ちりとり）を行いました。冒頭で、ちりとりに関する課題を与えて、その課題を解決するような意識で創作してもらいました。クラブ生達の自由な発想により、様々な「ちりとり」が創作されました。なお、当初設定した時間内（20分弱）での完成は難しく、少しずつ時間を延ばす形で行いました。題材としては、「片手で持てるかな」に比べて難易度が高いが、全員が最後まで作りきりました。一部のクラブ生には、完成したちりとりを皆に発表してもらいました。お互いに刺激になった様子でした。また、指導員の方にも創作してもらいました。

（工作時の様子）



（完成したちりとり）



東海会 教育機関支援機構 運営委員 寺本諭史

関 西 会

2026年度「弁理士の日」記念事業（滋賀） 「親子発明工作～磁石のはたらきを感じてみよう～」

1. 日 時：2026年7月12日（日）13：00～17：00
 第1回 13：00～14：30
 第2回 15：30～17：00
2. 場 所：草津商工会議所 多目的室2
3. 対 象：8組（子ども9人、保護者8人）
 第1回 5組（子ども5人、保護者5人）
 第2回 3組（子ども4人、保護者3人）
4. 講 師：ファザーリング・ジャパン滋賀 浅野能成氏 他2名
5. 内 容：親子発明工作～磁石のはたらきを感じてみよう～
 ＜コイルを巻いたレールに電池と磁石を使ったリニアトレインを走らせる＞
 - （1）真柴地区会長から参加者へ開会の挨拶が行われました。
 - （2）講師から資料配布、スライド説明、および磁石と電池とを組み合わせた電池台の上で針金がかくかく回転する実演が行われました。
 - （3）講師から磁石の特徴や、磁石と電池とを組み合わせた際の動作について解説がなされました。
 - （4）講師から電池台が配られ、子どもたちは、見本を元に自ら曲げた針金を電池台の上に載せて、実際に針金が電池台の上でかくかく回転するかを試しました。
 - （5）講師から工作材料が配られ、針金を棒に巻き付けてコイル状にした長尺のリニアトレイン用レールを作成する方法について説明がなされました。
 - （6）子どもたちは、保護者と協力して長尺のリニアトレイン用レールを作成し、実際に電池と磁石を組み合わせたトレインがレール内を走るか試しました。
 - （7）参加者全員のレールを1つの大きな輪に連結させて、トレインがレール途中で停まらずに走るかを試しました。
 - （8）真柴地区会長の閉会の挨拶で終了しました。

子どもたちは、講師によって針金が電池台の上でかくかく回転する様子を見た際、驚きの声を上げていました。自ら曲げた針金が電池台の上で上手にかくかく回るように曲げ方を何度も試行錯誤していました。リニアトレイン用レールを作る際、コイルを巻く時間が少し掛かったものの、子どもたちは飽きることなく保護者と協力してレールを仕上げていました。実際にレール内をトレインが走ると子どもたちからは歓声が上がりました。子どもたちが保護者と協力して一から工作したものが、実際に動作する様子を観察することで、物づくりを楽しんでもらえたように思います。

【第1回風景】



【第2回風景】



関西会 滋賀地区会 副地区会長 前田直

**2026年度「弁理士の日」記念事業（京都）
「親子発明工作教室『どんな音がでるかな（ストローで楽器（笛やパンパイプ）を作ろう）』」**

1. 日 時：2026年7月18日（土）13：00～16：30
2. 場 所：京都商工会議所 AB会議室
3. 対 象：71名
 第1部 19名（16組／保護者16名 計35名）
 第2部 20名（16組／保護者16名 計36名）
4. 講 師：小畑裕士、京都地区運営委員
5. 内 容：どんな音がでるかな（ストローで楽器（笛やパンパイプ）を作ろう）

弁理士の日イベントとして親子イベントを開催しました。プログラムは、今年も「マジックショー」、「弁理士ってなーに?」、そして、「工作」です。4年目の今年は、早々に定員に達し、各回20組まで受け付けました。最終的に、キャンセルもありましたが、多くの親子に参加いただきました。なお、去年参加していただいた親子も数組見られました。

（1）マジックショー（講師 小畑裕士会員）

初めに、小畑会員による恒例のマジックで場を盛り上げてもらいました。子供たちだけでなく保護者の方々からも感嘆の声がでました。小畑会員が参加者全員の子供たちのために用意したカードマジックは友達にもやってみようといふ大いに喜ばれていました。

（2）弁理士ってなーに

次の「弁理士ってなーに」では、残念ながらリピーターの方以外は、「弁理士」を知っている子はいませんでした。しかし、「音がなぜなるのか? 声がなぜでるのか?」の問いには元気に答えてもらえました。

（3）ストローで楽器をつくろう

最後は「ストローによる楽器作り」です。今回、3つの笛を準備しました。1つ目は、短く切ったストローの先端をつぶし、山型に切った超簡単なストロー笛です。先端を口に入れてストローに息を通すと笛笛のように大きな音がなります。

コツは「強く吹く」です。初めは、遠慮がちでなかなかありませんでしたが、5分後には、会場一杯に大きな音が鳴っていました。2つ目は、今回の目玉のパンパイプです。ストローの下端を閉じて、上端から息を吹き付けます。牛乳瓶で音を鳴らすようにと説明したら保護者の方は上手にできていました。ストローの長さに応じて音が変わることの説明し、「ドレミファソラシド」の8音になるパンパイプを作ってもらいました。最後はレコーダーです。説明書をみんなに渡し、余裕のある方には会場で、余裕のない方には家で作ってもらうようにしました。時間ギリギリまでいろんな音が鳴り響いた賑やかなイベントになりました。



会場風景

関西会 京都地区会 副地区会長 鎌田雅元

KRPフェス2026

1. 日 時：(1) 2026年7月24日(金) 13:00～16:00
(2) 7月25日(土) 1回目10:30～12:00
2回目13:30～15:00
2. 場 所：京都リサーチパーク (1) 4号館ルーム1 (2) 1号館D会議室
3. 対 象：(1) 子ども向けイベント
55名(小学生26名、保護者29名)
(2) 知財無料相談
3名(3件)
4. 講 師：(1) 小畑裕士、京都地区運営委員
(2) 相談担当 片倉等、INPIT 京都府知財総合支援窓口担当者
5. 内 容：子ども向けイベント
マジックショー(講師 小畑裕士会員)
弁理士ってなーに
ストローで楽器を作ろう!どんな音が出るかな?

KRP フェス2026の子ども向けイベントは、当日参加も含め定員に達する参加者で盛況のうちに終了しました。

プログラムは恒例のマジックショー、「弁理士ってなーに?」のプレゼン、ストローで楽器を作ろう!としての工作を実施しました。

マジックで場が盛り上がり、「弁理士ってなーに?」の講演も興味深く聞き入ってくれていました。工作は、作るのは比較的容易でしたが、楽器としての音を出すのに苦戦しつつ、それぞれが考えて工夫を凝らしていたようです。複数の楽器を作っていた子どもたちもあり、楽しんでもらえました。



マジックショー



弁理士ってなーに?



ストロー楽器工作

写真提供：京都発明協会

関西会 京都地区会 副地区会長 鎌田雅元

知財基礎講座(第2回)「特許・実用新案入門『”真”に事業に役立つ特許とは?』」

1. 日 時：2026年8月19日(水) 15:00～16:30
2. 場 所：Zoom によるオンラインセミナー
3. 対 象：38名
4. 講 師：江口裕之
5. 内 容：「特許・実用新案入門『”真”に事業に役立つ特許とは?』」

「特許とは何か」を説明する専門的なセミナーが多い中で、視点を変え特許の活用を実例を交えて説明する内容としました。上流側の事業戦略において検討すべきクローズ戦略、オープンクローズ戦略を平易に説明することで、“何 が特許になる?”ではなく、“何を特許にする?”を最初に検討することの重要性を説明しました。

関西会 江口裕之

「知的財産特別授業」大阪市立矢田小学校

1. 日 時：2026年8月28日（金）10：45～11：30
2. 場 所：大阪市立矢田小学校
3. 対 象：6年生 1クラス 26名
4. 講 師：神木祐栄、古澤寛
5. 内 容：発明工作授業（片手でもてるかな）

大阪市立矢田小学校は、近鉄南大阪線の矢田駅から徒歩数分ほどの閑静な住宅地にあり、広い運動場が印象的な小学校でした。

授業では、神木会員が司会進行を担当し、まず、「弁理士」「発明」について平易に説明し、続いて、身の回りの発明品として「カップヌードル」を例に挙げてその技術的工夫を説明しました。

そして、発明工作では、まず、「課題」を自分ごととして捉えてもらうために、“みんなで野球場に野球観戦に来た”という設定で話を始めました。プレイボールの前に、売店で飲み物を買（片手で紙コップを持ち）、さらにポップコーンを買（別の片手で紙皿を持ち）、両手が塞がってしまう状態を疑似的に体感してもらいました。これにより、両手が塞がってしまう状態を何とかしようという課題を自分ごととして捉えやすくなったように思います。

この後に工作に取り組んだ発明家たちは、各自のアイデアを実際の形にして、紙コップと紙皿とが一体化された試作品をバリエーション豊かに生み出してくれました。紙皿と紙コップとを互いの重なりを避けて横どうしで配置固定したもの、紙コップからせり出す枠状のトレーを設けてそこに紙皿を置けるようにしたもの、紙皿からポップコーンがこぼれ落ちないようにする囲いが紙皿上にデザイン性高く形成されたものなどです。

工作を終えた後には、せっかく創った発明品が模倣される場面をイメージしてもらい、模倣されないように特許を取得することの重要性と、それをサポートするのが弁理士である点とを説明しました。

今回の授業では、児童たちが実際に手を動かして、時には難しさに直面して立ち止まりつつアイデアを形にすることは、児童たちの発明へ関心やアイデアを尊重するマインドを高めるうえで重要であることを、改めて実感しました。

なお、本件は、特許庁委託事業「令和8年度 知財エコシステムの多様性拡大に資するイノベーター育成に関する調査事業（知財イノベーター育成事業）」の一環としても実施されました。



※「カップヌードル」は日清食品ホールディングス株式会社の登録商標です。

関西会 知的財産特別授業講師 古澤寛

2

支援活動一覧表（10月分）

都道府県	開催年月日	イベント・セミナー名	講師 or 相談員氏名	会 場	区分
北海道	26.10.26	令和 8 年度地方発明表彰（表彰式）	杉田基子	京王プラザホテル札幌	表彰式
青森	26.10.06	第 68 回青森県発明くふう展（審査会）	野呂亮仁	青森県共同ビル	審査会
	26.10.14	日本弁理士会特許商標無料相談会	富沢知成	青森商工会議所	相談
岩手	26.10.01	第 62 回岩手県発明くふう展（審査会）	丸岡裕作	地方独立行政法人 岩手県工業技術センター	審査会
	26.10.14	日本弁理士会特許商標無料相談会	野崎俊剛	盛岡商工会議所	相談
	26.10.25	第 62 回岩手県発明くふう展（表彰式）	東田潔	地方独立行政法人 岩手県工業技術センター	表彰式
宮城	26.10.07	日本弁理士会特許商標無料相談会	若山剛	気仙沼商工会議所	相談
	26.10.23	第 39 回みやぎ発明くふう展（審査会）	藤田正広	HOKUSHU 仙台市科学館	審査会
秋田	26.10.20	第 75 回秋田県発明展（審査会）	佐々百合子	ポートタワー・セリオン	審査会
	26.10.25	第 75 回秋田県発明展（表彰式）	佐々百合子	ポートタワー・セリオン	表彰式
山形	26.10.07	第 61 回山形県発明くふう展（審査会）	黒沼吉行	シェルターなんようホール （南陽市文化会館）	審査会
	26.10.11	第 61 回山形県発明くふう展（表彰式）	佐藤司	シェルターなんようホール （南陽市文化会館）	表彰式
福島	26.10.19	第 7 8 回郡山市発明工夫展表彰式	水野博文	郡山市役所	表彰式
	26.10.27	第 72 回福島県発明展（審査会）	水野博文	ベスト学院労働福祉会館	審査会
新潟	26.10.07	第 90 回新潟県発明工夫展・ 第 74 回新潟県模型展 審査会	加藤裕介	新潟県立自然科学館	審査会
	26.10.17	第 90 回新潟県発明工夫展・ 第 74 回新潟県模型展 表彰式	加藤裕介	新潟県立自然科学館	表彰式
富山	26.10.16	第 64 回富山県発明とくふう展 審査会	山川正男	富山市民プラザ 2 階アートギャラリー	審査会
石川	26.10.21	第 62 回石川県発明くふう展 審査会	海野徹	石川県地場産業振興センター	審査会
	26.10.31	第 62 回石川県発明くふう展 表彰式	海野徹	石川県地場産業振興センター	表彰式
福井	26.10.06	第 38 回福井県発明くふう展・ 第 35 回福井県未来の科学の夢絵画展 表彰式	中出朝夫	福井市地域交流センター	表彰式
茨城	26.10.06	茨城大学寄附講座「知的所有権特論」	石塚利博	オンライン	講演
	26.10.13	茨城大学寄附講座「知的所有権特論」	服部耕市	オンライン	講演
	26.10.20	茨城大学寄附講座「知的所有権特論」	中村宏	オンライン	講演
	26.10.27	茨城大学寄附講座「知的所有権特論」	柴田富士子	オンライン	講演
千葉	26.10.01	千葉工業大学 講師推薦	島田敬丈	千葉工業大学津田沼キャンパス 6 号館 1 階 612 講義室	講演
	26.10.07	佐倉商工会議所相談員派遣	相田悟	佐倉商工会議所 2 階会議室	相談
	26.10.08	千葉工業大学 講師推薦	島田敬丈	千葉工業大学津田沼キャンパス 6 号館 1 階 612 講義室	講演
	26.10.10	千葉市科学フェスタ 2026	千葉委員会 委員	Qiball（きぼーる）	講演
	26.10.15	千葉工業大学 講師推薦	松崎義邦	千葉工業大学津田沼キャンパス 6 号館 1 階 612 講義室	講演
	26.10.22	千葉工業大学 講師推薦	松崎義邦	千葉工業大学津田沼キャンパス 6 号館 1 階 612 講義室	講演

都道府県	開催年月日	イベント・セミナー名	講師 or 相談員氏名	会 場	区分
千葉	26.10.22	船橋商工会議所相談員派遣	佐藤高弘	船橋商工会議所 304 号室	相談
	26.10.27	2026 年度弁理士による 特許無料相談会（東葛テクノプラザ）	松崎義邦	東葛テクノプラザ相談室 1 階	相談
	26.10.29	千葉工業大学 講師推薦	福井敏夫	千葉工業大学津田沼キャンパス 6 号館 1 階 612 講義室	講演
東京	26.10.03	第 7 回暮らしと事業の無料相談会 in 杉並	中重善文 藤岡茂 斎藤理絵	杉並区立産業商工会館 展示場	相談
	26.10.04	第 24 回板橋区と共催 9 土業合同 事業と暮らしの無料相談会	樋田成人	板橋区立ハイレイフプラザ 2 階	相談
	26.10.06	東京農工大学 農学部 『知的財産権・特許法』	鈴木康介 鷺尾透 山下滋之	東京農工大学 府中キャンパス 第一講義棟 25 番教室	講演
	26.10.08	2026 年度東京商工会議所専門相談員	時田稔	東京商工会議所 中小企業相談センター	相談
	26.10.08	2026 年度知財無料相談会（町田）	宮崎悟	町田新産業創造センター又は オンライン	相談
	26.10.09	品川区特許相談	川崎仁	品川区立中小企業センター	相談
	26.10.12	第 12 回 府中市専門家ワンストップ相談会	時田稔	ル・シーニュ 5 階、6 階 市民活動センタープラッツ	相談
	26.10.13	東京農工大学 農学部 『知的財産権・特許法』	鈴木康介 鷺尾透 山下滋之	東京農工大学 府中キャンパス 第一講義棟 25 番教室	講演
	26.10.15	第 26 回ビジネスフェア ブース出展		新宿住友ビル 三角広場	相談
	26.10.20	2026 年度東京商工会議所 文京支部専門相談員	藤岡茂	東京商工会議所文京支部	相談
	26.10.20	東京農工大学 農学部 『知的財産権・特許法』	鈴木康介 鷺尾透 山下滋之	東京農工大学 府中キャンパス 第一講義棟 25 番教室	講演
	26.10.20	2026 年度多摩地域 無料知的財産相談会	相原礼路	たましん事業支援センター (Win センター) 又はオンライン	相談
	26.10.21	令和 8 年度文京区イノベーション創出 支援事業における審査会	池田直文	文京シビックセンター地下 2 階 暮らしとくらしのプラザ内研修室	審査会
	26.10.23	品川区特許相談	川崎仁	品川区立中小企業センター	相談
	26.10.27	東京農工大学 農学部 『知的財産権・特許法』	鈴木康介 鷺尾透 山下滋之	東京農工大学 府中キャンパス 第一講義棟 25 番教室	講演
神奈川	26.10.07	横浜市立大学寄附講座 『知的財産マネジメント』	船津暢宏	横浜市立大学 金沢八景キャンパス	講演
	26.10.09	神奈川県立川崎図書館 2026 年度知的財産相談事業	金子正彦	神奈川県立川崎図書館 知財スポット	相談
	26.10.14	横浜市立大学寄附講座 『知的財産マネジメント』	西山恵三	横浜市立大学 金沢八景キャンパス	講演
	26.10.16	2026 年度図書館で学ぶ知的財産講座 (神奈川県立川崎図書館)	波岡かおり 高原千鶴子	神奈川県立川崎図書館	講演
	26.10.21	ロボット交流拠点「ロボリンク」での 無料相談会 相談員派遣	木下茂	ロボリンク	相談
	26.10.21	横浜市立大学寄附講座 『知的財産マネジメント』	柴田克亮	横浜市立大学 金沢八景キャンパス	講演
	26.10.23	神奈川県立川崎図書館 2026 年度知的財産相談事業	柳元八大	神奈川県立川崎図書館 知財スポット	相談
	26.10.28	横浜市立大学寄附講座 『知的財産マネジメント』	高原千鶴子	横浜市立大学 金沢八景キャンパス	講演
山梨	26.10.13	2026 年度弁理士による 知的財産無料相談会（富士吉田）	横川憲広	富士吉田商工会議所 2 階会議室	相談
長野	26.10.09	週末特許セミナー in 諏訪	大橋俊夫 松尾誠剛	スワッチャ	講演
	26.10.24	第 53 回長野県発明くふう展	岩垂裕司	長野市ビッグハット (産業フェア in 信州)	表彰式
岐阜	26.10.02	週末特許セミナー in 岐阜	浅野雅己 鷺見浩樹	じゅうろくプラザ	講演
	26.10.14	2026 年岐阜県発明くふう展 (作品の部)	寺本裕一	マーサ 21 「会議室 A」	審査会

都道府県	開催年月日	イベント・セミナー名	講師 or 相談員氏名	会 場	区分
岐阜	26.10.15	2026年岐阜県発明くふう展 (一般の部)	井上博之	マーサ21「会議室A」	審査会
岐阜	26.10.18	2026年岐阜県発明くふう展 (作品の部)	柘植千咲	マーサスクエア	表彰式
	26.10.19	2026年岐阜県発明くふう展 (一般の部)	三尾泰史	マーサスクエア	表彰式
静岡	26.10.02	週末パテントセミナー 2026in 静岡 (静岡会場)	鈴木和政 絹川将史	静岡労政会館 展示室+第3会議室	講演
	26.10.06	静岡県立浜松商業高等学校における 知財授業 「商品開発と流通における知的財産について」	村松亮子	静岡県立浜松商業高等学校	講演
	26.10.09	日本弁理士会と独立行政法人 国立高等専門学校機構との 「知的財産教育の充実及び知的財産活用 のための協力に関する協定」に基づく 沼津工業高等専門学校での知財授業	高橋俊一 阿出川豊 西部晃平 高田珠美 増田瑛 山本竜也	沼津工業高等専門学校	講演
	26.10.09	週末パテントセミナー 2026in 静岡 (浜松会場)	松本喬 田口滋子	アクトシティ浜松 Dゾーン 研修 交流センター 51 研修交流室	講演
	26.10.13	日本弁理士会東海会 「静岡県立田方農業高等学校における 出張授業」	宮崎篤嗣 東山裕樹 本田彩香	静岡県立田方農業高等学校	講演
	26.10.16	週末パテントセミナー 2026in 静岡 (静岡会場)	松本喬 田口滋子	静岡労政会館 展示室+第3会議室	講演
	26.10.20	静岡県立浜松商業高等学校 「商品開発と流通」	村松亮子	静岡県立浜松商業高等学校	講演
	26.10.20	第74回静岡県学生児童発明くふう展	吉延彰広	静岡県産業経済会館3階 第1・2会議室	審査会
	26.10.23	週末パテントセミナー 2026in 静岡 (浜松会場)	永田由美 坂野史子	アクトシティ浜松 Dゾーン 研修 交流センター 51 研修交流室	講演
	26.10.30	週末パテントセミナー 2026in 静岡 (静岡会場)	永田由美 坂野史子	静岡労政会館 展示室+第3会議室	講演
愛知	26.10.02	日本弁理士会東海会協力講座 名古屋市立大学 「教養教育課程－知的財産権入門－」	二宮佳亮	名古屋市立大学 山の畑キャンパス	講演
	26.10.09	日本弁理士会東海会協力講座 名古屋市立大学 「教養教育課程－知的財産権入門－」	丸山明夫	名古屋市立大学 山の畑キャンパス	講演
	26.10.11	こまき少年少女発明クラブにおける 知的財産授業	神戸真澄 菊谷純	こまき少年少女発明クラブ	講演
	26.10.16	日本弁理士会東海会協力講座 名古屋市立大学 「教養教育課程－知的財産権入門－」	廣江史典	名古屋市立大学 山の畑キャンパス	講演
	26.10.17	休日パテントセミナー in 名古屋	堀部峰雄 野崎仁嗣	名古屋商工会議所 3F 第5会議室	講演
	26.10.23	日本弁理士会東海会協力講座 名古屋市立大学 「教養教育課程－知的財産権入門－」	藤田早百合 阿出川豊 増田瑛 高田珠美 寺本諭史 高橋俊一	名古屋市立大学 山の畑キャンパス	講演
	26.10.30	あいち少年少女創意くふう展 2026	二宮佳亮	トヨタ産業技術記念館	審査会
	26.10.30	日本弁理士会東海会協力講座 名古屋市立大学 「教養教育課程－知的財産権入門－」	榊原毅	名古屋市立大学 山の畑キャンパス	講演
三重	26.10.01	令和8年度第55回 三重県発明くふう展	寺本諭史	河芸公民館 第2研修室	審査会
	26.10.03	三重県発明くふう展工作教室	寺本諭史 坂岡範穂 松本悟	津市河芸公民館	イベント
	26.10.04	三重県発明くふう展工作教室	寺本諭史 小林洋平 春日部仁之	津市河芸公民館	イベント

2. 支援活動一覧表（10 月分）

都道府県	開催年月日	イベント・セミナー名	講師 or 相談員氏名	会 場	区分
滋賀	26.10.17	パテントセミナー 2026 「特許出願に向けた発明の創出法と 明細書チェックの基本」	服部真典	草津商工会議所	講演
	26.10.22	知的財産特別授業	岸本忠昭 山田克樹	豊郷町立日栄小学校	講演
	26.10.24	第 46 回滋賀県児童生徒発明くふう展・ 第 32 回滋賀県未来の科学の夢絵画展 表彰式	真柴俊一郎	ボストンプラザ草津	表彰式
京都	26.10.14	知財基礎講座 2026 第 4 回「商標入門」	正村智彦	オンライン	講演
	26.10.30	パテントセミナー 2026 「先使用・公然実施により自社製品を 守るための証拠化実務」	三品明生	京都経済センター	講演
大阪	26.10.02	パテントセミナー 2026 「生成 AI により大きく変化する知財人 の役割」	阿久津好二	オンライン	講演
	26.10.10	パテントセミナー 2026 「ドキドキの外国特許出願 ～国際出願 のイロハ～」	古茂田道夫	オンライン	講演
	26.10.10	パテントセミナー 2026 「知財担当者になったら、会社を強くす るために知っておきたい役割と視点」	後利彦	京都市青少年科学センター	講演
	26.10.14	大阪勧業展 2026	知財普及・支援 委員会委員	マイドームおおさか	その他
	26.10.21	INPIT-KANSAI × 日本弁理士会関西 会 × (公財) 大阪産業局共催セミナー 「ベトナム・インドネシア進出前に知っ ておきたい知財制度の概要－現地制 度・慣習を踏まえた知財に関する注意 点－」	鶴善一 (INPIT-KANSAI 知 財戦略エキスパー ト) 井上知哉 小野正明 徳永弥生 古茂田道夫	オンライン	講演
	26.10.22	第 55 回大阪府生徒児童発明くふう展 審査会	中筋拓	ATC エイジレスセンター	審査会
兵庫	26.10.20	令和 8 年度兵庫県学生児童発明くふう展 審査会	小林恵	バンドー神戸青少年科学館	審査会
	26.10.24	パテントセミナー 2026 第 5 回	坂田泰弘	スペースアルファ三宮	講演
	26.10.30	知的財産特別授業	千原清誠 時田浩志	丹波市立南小学校	講演
奈良	26.10.16	第 83 回奈良県児童・生徒発明くふう展 審査会	田嶋諭	イオンモール大和郡山	審査会
和歌山	26.10.20	第 58 回私たちのくふう展 審査会	久保田静男	フォルテワジマ	審査会
	26.10.21	第 41 回和歌山市民 発明くふうコンクール 審査会	東山香織	和歌山城ホール	審査会
	26.10.22	知的財産特別授業	吉永元貴 大橋広昌	和歌山市立浜宮小学校	講演
	26.10.24	第 58 回私たちのくふう展 表彰式	久保田静男	フォルテワジマ	表彰式
	26.10.25	第 41 回和歌山市民 発明くふうコンクール 表彰式	東山香織	和歌山城ホール	表彰式
福岡	26.10.16	第 69 回福岡県児童生徒発明くふう展 審査会	隅田俊隆	福岡市科学館 6 階 サイエンスホール	審査会
	26.10.25	第 69 回福岡県児童生徒発明くふう展 表彰式	隅田俊隆	北九州市科学館スペース LABO ANNEX プレゼンテーションスタジオ	表彰式
宮崎	26.10.15	第 85 回宮崎県学校発明くふう展 審査会	川口敬義	宮崎科学技術館	審査会
大分	26.10.11	別府少年少女発明クラブ 知的財産特別授業	松本秀治 大谷仁郎	ふれあい広場・サザンクロス3階 (別府少年少女発明クラブ室)	講演
沖縄	26.10.02	第 55 回沖縄県発明くふう展 審査会	松本浩一郎	沖縄産業支援センター	審査会
	26.10.25	第 55 回沖縄県発明くふう展 表彰式	松本浩一郎	沖縄県立武道館	表彰式



第1回
片倉 等 弁理士



第2回
江口 裕之 弁理士



第3回
後 利彦 弁理士



第4回
正村 智彦 弁理士



第5回
拾井 美香 弁理士



知財基礎講座

オンライン

受講費
無料

「知的財産」は特別な企業だけの話だと思いませんか？

「ウチの会社に知財は関係あるだろうか？」そう感じた方のための講座です！

こんなことを 考えたことはありませんか？

- ・知財って重要そうだけど、今は忙しいし何から手を付けていいのかわからない
- ・商品を真似されないようにするには？
- ・販売中の自社商品が、知財権侵害で訴えられることがあるって本当？
- ・今後は販路を広げたいけど、気を付けておくべき点を知りたい！

知財が必要かどうか
その答えがわかります

ここがポイント！

- ・知財エキスパートである5人の弁理士が講師を担当
- ・コンパクトな1時間のオンライン講習
- ・受講料はすべて無料
- ・難しい専門用語は使いません。身近な例を挙げて解説するので、初心者の方が安心して受講することができます

大好評につき今年も開催

対象者

京都府内在住

または勤務の方

※定員に満たない場合は、他府県の方もご受講いただけます



本講座は、超初心者向け
知的財産講座です

中小企業の経営者や知財担当者、個人事業主、大手企業の若手技術者など幅広い層へ
おすすめいたします

※時間はいずれも 15:30~16:30

令和 8 年

7 月 14 日 (火)

第1回 知財入門

知財は、“コスト”ではなく、“投資”です

8 月 19 日 (水)

第2回 特許・実用新案入門

“真”に事業に役立つ特許とは？

9 月 9 日 (水)

第3回 意匠入門

意匠を活かした選ばれる商品と会社づくり！

10 月 14 日 (水)

第4回 商標入門

京都で見つける「名前」と「信用」

11 月 11 日 (水)

第5回 著作権入門

ビジネスにおいて必要な著作権の基礎知識

全5回

共催

日本弁理士会関西会京都地区会、一般社団法人京都発明協会、
京都商工会議所、I N P I T 京都府知財総合支援窓口

後援

経済産業省
近畿経済産業局

【お問い合わせ先】 一般社団法人 京都発明協会

〒600-8813 京都市下京区中堂寺南町134
京都リサーチパーク内 京都府産業支援センター 2階 TEL:075-315-8686

京都発明協会を検索
京都発明協会



第1回 知財入門

弁理士
片倉 等
デジナール
知的財産事務所



知財は、「コスト」ではなく、
“投資”です

私はこれまで大手製造業で新規事業開発や知財の仕事に携わり、現在は弁理士として企業の“強み”づくりをお手伝いしています。この講座では、特許や商標だけでなく、技術・デザイン・ブランド・信頼・ノウハウといった「見えない資産」を会社の価値として捉え直します。これらは守り方や育て方しだいで将来の利益や成長につながる大切な財産です。知財は難しいものではなく、会社の未来を支える“投資”。その考え方と活かし方をわかりやすくお話しします。

第2回 特許入門

弁理士
江口 裕之
株式会社島津製作所



“真”に事業に役立つ特許とは？

特許は重要というがほんとうに事業に役立つのか？特許獲得（投資）をする上で極めて重要な疑問となりますが、実は特許を多数保有する大手企業でさえ明確な説明に悩むテーマです。“何が特許になる？”ではなく、“何を特許にする？”がこの疑問の答えに直結します。本講座ではこの点を中心に難しい話は一切抜きにし、大手企業で知財実務と管理に携わった演者が実例を交え“真”に事業に役立つ特許？をわかりやすく説明します。

第3回 意匠入門

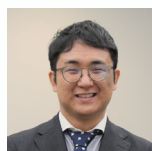
弁理士
後 利彦
京都先端科学大学



意匠を活かした選ばれる商品と
会社づくり！

知財と聞くと「特許」を思い浮かべる方が多いかもしれません。しかし実は、身近な商品の形やパッケージだけでなく、工業部品や機器の形状などにも使えるのが「意匠」です。意匠は特許より費用を抑えやすく、権利期間も長いという特徴があり、特許ではカバーできない“見た目の価値”を守ることができます。本講座では、なぜその商品が選ばれるのか、なぜ真似されにくいのかを具体例で示しながら、意匠を通じて自社の強みを伝え、会社の価値を高める考え方をわかりやすく解説します。

第4回 商標入門



弁理士
正村 智彦 京都北山特許法律事務所



京都で見つける「名前」と「信用」

京都には、名前を聞くだけで「あの店」「あの商品」と分かるものや、ロゴを見るだけで店やブランドが伝わるものが数多くあります。本講座では、京都で見かけるさまざまな名前やロゴを取り上げながら、それらが人々の信用とどのように結び付いているのかを紹介するとともに、それらを守る手段である「商標」について、商標に初めて触れる方にもわかりやすく解説します。

第5回 著作権入門



弁理士・弁護士
拾井 美香 京都総合法律事務所



ビジネスにおいて必要な著作権の基礎知識

知的財産に関する相談、契約書作成、訴訟・交渉事件などのサポート業務を行っている弁護士・弁理士です。どのような行為が著作権侵害になるかを知らなければ、企業活動において大きなリスクになります。この講座では、著作権の基礎知識及び著作権侵害について説明した上で、Web、SNS、AIにおいて著作物を利用する場合の注意点を解説していきたいと思います。

形 式

オンラインセミナー（Zoom利用予定）



定 員

※京都府内に在住または勤務されている方が対象
他府県の方は、定員に満たない場合にご受講いただけます

50名（先着順・申込締切：各開催日の5日前）

受講料

無料（ご希望回のみ受講することも可能）

ご 注 意 点

- ・先着順受付です。申込締切日前であっても定員になり次第、申込を締め切ります。
- ・他府県の方のお申込で、定員オーバーのためにご受講いただけない場合は、開催1週間前までにメールにてご連絡いたします。
- ・開催日の数日前に、Zoom招待URLと講座資料データをメールでお送りします。
- ・ご不明な点は京都発明協会（075-315-8686）までお問い合わせください。

知財経営支援ネットワーク事業

令和5年3月に特許庁、INPIT、日本商工会議所、日本弁理士会の4者が「知財経営支援ネットワーク」構築を宣言し、令和6年12月には中小企業庁も加わりました。本講座は、関西地域での「知財経営支援ネットワーク事業」の一環として開催します。

お申込方法 <Web申込フォームからお申し込みください>



◀ 申込フォーム

講座の詳細は、
京都発明協会のHPで
ご確認いただけます。
（お申込も可能）

🔍 京都発明協会



京都発明協会HP内
知財基礎講座ページ

知財経営支援ネットワーク事業
日本弁理士会関西会

パテントセミナー 2026

参加費
無料

対象

どなたでも
ご参加可能
です。



申込ページ



はっぴよん®
日本弁理士会
公式マスコットキャラクター

今年も
オンラインと
リアル開催と
なります！

日本弁理士会関西会は、知的創造活動の普及と促進の一環として、一般の方々に広く知的財産権を理解していただけるよう弁理士等の専門家がわかりやすく説明する、知的財産権に関するセミナーを開催します。

オンラインセミナー (Zoomウェビナー) 定員:500名

10/2(金) 14:00~15:40 **中級編**
生成AIにより大きく変化する知財人の役割
講師: 弁理士 阿久津 好二

10/10(土) 10:00~11:40 **初級編**
ドキドキの外国特許出願 ~国際出願のイロハ~
講師: 弁理士 古茂田 道夫

10/10(土) 14:00~15:40 **初級~上級編**
知財担当者になったら、会社を強くするために
知っておきたい役割と視点
講師: 弁理士 後 利彦

11/21(土) 10:00~11:40 **中級編**
“日本流”が通じない海外商標の世界
~ブランド戦略と商標実務の国内外ギャップ~
講師: 弁理士 齊藤 整

11/21(土) 14:00~15:40 **初級編**
生成AIを活用した特許調査・分析
~誰でも簡単に今日から始める特許情報活用~
講師: 弁理士 角淵 由英

主 催: 日本弁理士会関西会

後 援: 近畿経済産業局、
(独)工業所有権情報・研修館 近畿統括本部、
(独)中小企業基盤整備機構 近畿本部、
(公財)大阪産業局

MAP ① 滋賀パテントセミナー (草津商工会議所) 定員:60名

10/17(土) 14:00~15:40 **初級編**
特許出願に向けた発明の創出法と
明細書チェックの基本
講師: 弁理士 服部 真典

MAP ② 兵庫パテントセミナー (スペースアルファ三宮) 定員:60名

10/24(土) 14:00~15:40 **中級編**
生成AI時代の著作権法 ~仮想事例を交えて~
講師: 弁理士 坂田 泰弘

MAP ③ 京都パテントセミナー (京都経済センター) 定員:80名

10/30(金) 14:00~15:40 **中級~上級編**
先使用・公然実施により自社製品を
守るための証拠化実務
講師: 弁護士・弁理士 三品 明生

MAP ④ 舞鶴パテントセミナー (舞鶴グランドホテル) 定員:60名

11/14(土) 14:00~15:40 **初級編**
地方だからこそ知っておきたい
会社の未来を守る知的財産活用術
講師: 弁理士 牧野 仁美

MAP ⑤ 大阪パテントセミナー (日本弁理士会関西会) 定員:140名

11/28(土) 14:00~15:40 **初級~中級編**
技術とビジネスをつなぐ特許価値評価:
経営判断に活かす知財戦略
~企業価値向上に貢献する知財の指標管理とは~
講師: 弁理士 片倉 晃

パテントセミナー2026

- 対 象 どなたでもご参加可能です。
- 参 加 費 無料
- 申込方法 日本弁理士会関西会ホームページ(<https://www.kjpaa.jp/>)より講座ごとに事前申込制。(先着順)
- 問い合わせ先
日本弁理士会関西会 事務局 TEL:06-6453-8200
<https://www.kjpaa.jp/>



申込ページ

※オンラインセミナーに関する技術的なお問合せには一切回答出来ません。

セミナーレベル
の説明

初級編

各法制度の基本知識がない

中級編

各法制度の基本知識がある

上級編

約5年以上の実務経験がある

オンラインセミナー

(Zoomウェビナー)

定員:500名

開催日時	テーマ・内容	講 師
10/2(金) 14:00～15:40	生成AIにより大きく変化する知財人の役割 中級編 従来、企業知財と特許事務所が連携して、アイデアを特許にしていたが、生成AIの活用によりプロセスが大きく変化しています。 島津製作所における生成AI活用の事例をもとに、今後の「知財人」の在り方を考えます。	弁理士 阿久津 好二
10/10(土) 10:00～11:40	ドキドキの外国特許出願 ～国際出願のイロハ～ 初級編 いまや製品販売は国内のみにとどまらずグローバルです。模倣品対策に海外への出願は必要? 費用は? など、疑問は尽きないと思います。初めて国際出願をする方がよく抱く疑問点を中心に国際出願の基礎を教えます。	弁理士 古茂田 道夫
10/10(土) 14:00～15:40	知財担当者になったら、会社を強くするために 知っておきたい役割と視点 初級～上級編 知財担当者は出願だけでよいのか? 企業価値にどう貢献するのか? 知財部長・取締役として経営者と伴走してきた講師が、これまで体系化されてこなかった役割と視点を初めて整理して語り、新人には指針を、実務者には仕事の軸を与えます!	弁理士 後 利彦
11/21(土) 10:00～11:40	“日本流”が通じない海外商標の世界 ～ブランド戦略と商標実務の国内外ギャップ～ 中級編 日本の感覚でブランドを構築し商標を採択すると、海外では思わぬ落とし穴が。出願費用や侵害リスクを下げるポイント、模倣品対策を意識した出願方法など、海外進出前に押さえておきたい商標の基礎をわかりやすく解説します。	弁理士 齊藤 整
11/21(土) 14:00～15:40	生成AIを活用した特許調査・分析 ～誰でも簡単に今日から始める特許情報活用～ 初級編 生成AIを活用した特許調査・分析について、初めての方でも理解できるように、調査の基礎から解説をして、プロンプトや実例を示しつつ、わかりやすくお伝えします。	弁理士 角淵 由英

MAP

① 滋賀パテントセミナー

(会場：草津商工会議所)

定員：60名

開催日時	テーマ・内容	講師
10/17(土) 14:00～15:40	特許出願に向けた発明の創出法と明細書チェックの基本 初級編 特許出願はハードルが高いと思われる技術者の方等を対象に、発明を創り出すための方法をいくつかご紹介します。 また、技術者の方が明細書のチェックを求められた場合における注意点についても解説します。	弁理士 服部 真典

MAP

② 兵庫パテントセミナー

(会場：スペースアルファ三宮)

定員：60名

開催日時	テーマ・内容	講師
10/24(土) 14:00～15:40	生成AI時代の著作権法 ～仮想事例を交えて～ 中級編 コンテンツをAIで簡単に生成できるようになった反面、他人の著作権を侵害したり自分の著作権が侵害されたりする可能性が高まりました。本セミナーでは、仮想事例を交えながら生成AIに関わる著作権法上の留意点を確認します。	弁理士 坂田 泰弘

MAP

③ 京都パテントセミナー

(会場：京都経済センター)

定員：80名

開催日時	テーマ・内容	講師
10/30(金) 14:00～15:40	先使用・公然実施により自社製品を守るための証拠化実務 中級～上級編 先使用权や公然実施を主張するために必要な証拠を整理するとともに、確定日付や事実実験公正証書などを利用した証拠化の具体的な方法について解説します。	弁護士・弁理士 三品 明生

MAP

④ 舞鶴パテントセミナー

(会場：舞鶴グランドホテル)

定員：60名

開催日時	テーマ・内容	講師
11/14(土) 14:00～15:40	地方だからこそ知っておきたい会社の未来を守る知的財産活用術 初級編 「地方だから特許は関係ない」と思っていませんか。地域で事業を営む皆様の実情をよく知る地方在住の弁理士が、商品・サービス名、デザイン、技術、ノウハウなど、身近な知的財産の活かし方を分かりやすくお伝えします。	弁理士 牧野 仁美

MAP

⑤ 大阪パテントセミナー

(会場：日本弁理士会関西会)

定員：140名

開催日時	テーマ・内容	講師
11/28(土) 14:00～15:40	技術とビジネスをつなぐ特許価値評価：経営判断に活かす知財戦略 初級～中級編 ～企業価値向上に貢献する知財の指標管理とは～ 特許価値評価には多様な視点があり、体系的な理解が欠かせません。本セミナーでは、基礎理論と無形資産活用の実例を踏まえ、知財を企業成長につなげる評価手法を実務視点で学びます。	弁理士 片倉 等

MAP 1 滋賀パテントセミナー会場 (草津商工会議所)



草津市大路
2丁目1-35
キラリエ草津1階



最寄駅

JR琵琶湖線「草津駅」より
徒歩5分

MAP 2 兵庫パテントセミナー会場 (スペースアルファ三宮)



神戸市中央区
三宮町1-9-1
三宮センター
プラザ東館6F



最寄駅

JR「三ノ宮駅」、阪急阪神
「神戸三宮駅」より徒歩約5分
地下鉄・ポートライナー
「三宮駅」より徒歩約7分

MAP 3 京都パテントセミナー会場 (京都経済センター)



京都市下京区
四条通室町東入
函谷鉾町78番地



最寄駅

京都市営地下鉄烏丸線
「四條駅」北改札出てすぐ
阪急電車京都線
「烏丸駅」26番出口直結

MAP 4 舞鶴パテントセミナー会場 (舞鶴グランドホテル)



舞鶴市円満寺
124



最寄駅

JR舞鶴線「西舞鶴駅」より
徒歩1分

MAP 5 大阪パテントセミナー会場 (日本弁理士会関西会)



大阪市北区梅田3-
3-20 明治安田生命
大阪梅田ビル25階



最寄駅

JR環状線・京都線・神戸線・おおさか
東線「大阪駅」より徒歩10分
大阪メトロ四つ橋線「西梅田駅」より
徒歩8分・御堂筋線「梅田駅」より
徒歩10分
阪神線「大阪梅田駅」より徒歩10分

※地下道からお越しの方は
Osaka Garden City 番号「6-
30」を目印にお越しください

●対象 どなたでもご参加可能です。

●参加費 無料

●申込方法 日本弁理士会関西会ホームページ
(<https://www.kjpaa.jp/>)より
講座ごとに事前申込制。(先着順)

●問い合わせ先

日本弁理士会関西会 事務局

TEL:06-6453-8200

<https://www.kjpaa.jp/>

※オンラインセミナーに関する技術的な
お問合せには一切回答出来ません。



申込ページ

《会場でのセミナーにおける注意事項》

- お申込み後は、直接会場にお越しください。●定員となり次第、締め切らせていただきますのでご了承願います。●会場へのお問い合わせはご遠慮ください。
- 地震、台風等の自然災害が発生した場合には、予告なく開催を中止することがございます。

《オンラインセミナーにおける注意事項》

- 本セミナーの録画、録音等は禁止します。
- 本セミナーの参加には、受講者の責任において、参加に必要なコンピュータ、利用環境、通信機器、通信回線その他設備を保持し、設定および管理するものとします。
- 本セミナーは、Zoomウェビナーを利用してインターネットで配信するため、ご利用されるデバイス、インターネットの通信状況等により、参加できない場合があります。その場合、主催者は責任を負いません。
- 本セミナーの動画や音声等すべての知的財産権は講演者とその所属先及び当会に帰属します。
- 私的利用など一定の範囲以外の目的で著作権者の許諾を得ずに複製、公衆送信等を行うことは著作権法などの法律により著作権侵害や著作隣接権侵害などの違法行為となります。
- 本セミナーで利用するウェブサービス(Zoomサービス等)の規約に違反する行為は禁止いたします。

《個人情報の取り扱いについて》

●登録いただいた個人情報は日本弁理士会の個人情報保護方針(<https://www.jpaa.or.jp/privacy/>)に基づき、適切に管理いたします。

●個人情報(個人データ)の利用目的

お申込みの際にご登録いただいた個人情報は、本イベントの申込管理や運営、本イベントに関する通知、連絡及び統計資料管理のために利用させていただきます。なお、法令に定める場合を除き、これら以外の目的のための利用または第三者提供はいたしません。



常設知的財産相談室(無料)

※すべて予約制です。

東海会



052-211-3110

URL : <https://www.jpaa-tokai.jp/>

相談時間 : 月～金曜日 / 13:00～16:00

北海道会



011-736-9331

URL : <https://jpaa-hokkaido.jp/>

相談時間 :

毎週火曜日・金曜日 / 14:00～16:00

関西会



06-6453-8200

URL : <https://www.kjpaa.jp/>

相談時間 : 月～金曜日 / 10:00～12:00、

14:00～16:00

東北会



022-215-5477

URL : <https://www.jpaa-tohoku.jp/>

相談時間 : 毎週火曜日 / 13:00～16:00

中国会



082-224-3944

URL : <https://www.jpaa-chugoku.jp/>

相談時間 : 毎週水曜日 / 13:00～15:00

北陸会



076-266-0617

URL : <https://www.jpaa-hokuriku.jp/>

相談時間 :

※相談日はホームページをご覧ください。

四国会



087-822-9310

URL : <https://jpaa-shikoku.jp/>

相談時間 :

※相談日はホームページをご覧ください。

関東会



03-3519-2707

URL : <https://www.jpaa-kanto.jp/>

相談時間 : 月～金曜日 / 10:00～12:00、

14:00～16:00

九州会



092-415-1139

URL : <https://www.jpaa-kyusyu.jp/>

相談時間 : 毎週木曜日 / 10:00～12:00、

13:00～15:00

中小企業の知財を活かして成長を支援します！

【弁理士知財キャラバン】のご紹介

知財を経営に活かすコンサルティングスキルをもった弁理士が最大3回訪問して、共に課題を解決し業績アップを目指します。

●Point !

- ・費用は無料(日本弁理士会が負担します)。
- ・これまで150社以上の中小企業に対して支援を実施しています。



詳細はコチラ▶



問い合わせ先: 日本弁理士会 弁理士知財キャラバン 担当
E-mail: caravan@jpaa.or.jp

<https://www.jpaa.or.jp/activity/caravan>

お問い合わせやご送付先に変更がございました場合には 日本弁理士会 経営・支援室まで

電話 : 03-3519-2709 (直) FAX : 03-3519-2706

MAIL : shien@jpaa.or.jp

URL : https://www.jpaa.or.jp/support_activity/